

2013年3月期第2四半期

決算説明会

2012年11月13日

目次

- I. 2013年3月期第2四半期決算
 - 1. 決算の概要
 - 2. セグメント別業績
 - 3. 貸借対照表・キャッシュフロー
設備投資・減価償却費

- II. 2013年3月期修正計画
 - 1. 2013年3月期修正計画
 - 2. 事業課題

I-1. 2013年3月期第2四半期決算の概要

経営環境

復興関連を中心とする国内需要が堅調に推移した一方で、海外においては、欧州における債務危機および経済情勢の悪化や中国経済の成長鈍化など、全体的な景況感は厳しくなりつつある。

業績の概要

鉛蓄電池を中心とした国内外の既存事業が堅調に推移した一方で、リチウムイオン電池事業は生産販売の大幅な減少と、栗東工場の稼働による生産設備の償却負担増により営業利益ならびに経常利益は減益となった。四半期純利益は前年に計上していた震災に起因する災害による損失等がなくなったことにより増益となった。

I-1. 2013年3月期第2四半期決算の概要

(億円)

	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	増減 (対前年同期増減率)
売上高	1,319	1,275	-44 (-3.3%)
営業利益	48	41	-7 (-15.4%)
利益率	3.6%	3.2%	-0.4p
経常利益	51	50	-1 (-2.3%)
税前利益	39	47	+8 (+20.5%)
純利益	25	31	+6 (+27.1%)

I-1. 2013年3月期第2四半期決算

四半期損益の推移

(億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
12年度	売上高	629	646	—	—	—
	営業利益	14	27	—	—	—
	経常利益	19	31	—	—	—
	純利益	11	20	—	—	—
11年度	売上高	603	715	734	802	2,854
	営業利益	8	40	41	71	160
	経常利益	12	39	49	80	180
	純利益	1	23	33	60	117

I-1. 2013年3月期第2四半期決算

営業利益・経常利益・純利益

(億円)

	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	増減	主な増減要因
営業利益	48	41	-7	①数量の変化 +10 ②鉛価格・売価変化 +18 ③人件費・費用増等 -19 ④リチウム数量減 -16
経常利益	51	50	-1	①営業利益の減少 -7 ②為替差損 +2 ③持分法損益の増加 +3
純利益	25	31	+6	①経常利益の減少 -1 ②特別損失の減少等 +7

目次

I. 2013年3月期第2四半期決算

1. 決算の概要
2. セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
設備投資・減価償却費

II. 2013年3月期修正計画

1. 2013年3月期修正計画
2. 事業課題

I-2. 2013年3月期第2四半期決算

セグメント別実績

(億円)

	2011年度 2Q累計		2012年度 2Q累計		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
国内自動車電池	273	11	260	13	-13	+2
国内産業電池電源	286	21	293	23	+7	+2
海外	605	32	603	36	-2	+4
リチウムイオン電池	79	-14	47	-30	-32	-16
その他	76	-2	72	-2	-4	0
合計	1,319	48	1,275	41	-44	-7

I-2. 2013年3月期第2四半期決算

自動車
セグメント



国内自動車電池事業

(億円)

	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	増減 (12-11年度)
売上高	273	260	-13
営業利益	11	13	+2
利益率	4.0%	5.1%	+1.1p

<2012年度上期 商況>

- ・ アイドリングストップ車、ハイブリッド車用鉛蓄電池の販売好調
- ・ 自動車関連部品(カーナビゲーションシステム等)の販売が減少

I-2. 2013年3月期第2四半期決算



国内産業電池電源事業

(億円)

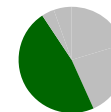
	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	増減 (12-11年度)
売上高	286	293	+7
営業利益	21	23	+2
利益率	7.4%	7.9%	+0.5p

<2012年度上期 商況>

- 産業用電池電源はデータセンター向け、および鉄道向けで堅調に推移
- 7月から始まった再生可能エネルギーの全量買い取り制度を受け、太陽光発電用パワーコンディショナーの販売好調
- 前年度は震災影響で落ち込んだ小型充電器(デジタルカメラ等)の販売が回復

I-2. 2013年3月期第2四半期決算

海外
セグメント



海外事業

(億円)

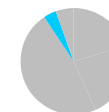
	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	増減 (12-11年度)
売上高	605	603	-2
営業利益	32	36	+4
利益率	5.2%	6.0%	+0.8p

<2012年度上期 商況>

- 自動車電池・オートバイ用電池は中国においては販売を伸ばすが、欧州における販売が減少
- フォークリフト用電池は増産により売上高拡大
- 人件費等の経費は増加するも売価維持により利益を確保

I-2. 2013年3月期第2四半期決算

リチウムイオン電池
セグメント



リチウムイオン電池

(億円)

	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	増減 (12-11年度)
売上高	79	47	-32
営業利益	-14	-30	-16
利益率	-17.4%	-63.0%	-45.6p
減価償却費	17	26	+9

<2012年度上期 商況>

- 電気自動車向けリチウムイオン電池の販売が大幅に減少
- ハイブリッド車向けリチウムイオン電池はほぼ計画通りとなり堅調に推移

I-2. 2013年3月期第2四半期決算

セグメント別増減益要因

(億円)

	営業利益増減 (12-11年上期)	増減益の主な要因			
		増益要因		減益要因	
国内自動車電池	+2	<ul style="list-style-type: none"> 数量の増加 +3 鉛価格、売価変化 +4 		<ul style="list-style-type: none"> その他 -5 	
国内産業電池電源	+2	<ul style="list-style-type: none"> 数量の増加 +2 			
海外	+4	<ul style="list-style-type: none"> 鉛価格、売価変化 +15 数量の増加 +5 		<ul style="list-style-type: none"> 人件費及び増産による費用増等 -14 	
リチウムイオン電池	-16	<ul style="list-style-type: none"> 減価償却費の増加 電気自動車向けリチウムイオン電池販売の大幅な減少 			

目次

I. 2013年3月期第2四半期決算

1. 決算の概要
2. セグメント別業績
3. 貸借対照表・キャッシュフロー
設備投資・減価償却費

II. 2013年3月期修正計画

1. 2013年3月期修正計画
2. 事業課題

I-3. 2013年3月期第2四半期決算

貸借対照表

(億円)

	2012/3末	2012/9末	増減額		2012/3末	2012/9末	増減額
流動資産	1,367	1,153	-214	負債	1,422	1,402	-20
<ul style="list-style-type: none"> ・ 売掛債権 ・ 有価証券 ・ 経済産業省からの補助金(未収入金) 			-93 -58 -49	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕入債務、設備関係債務等 ・ 有利子負債 			-35 +30
固定資産	1,417	1,588	+171	純資産	1,362	1,340	-22
<ul style="list-style-type: none"> ・ 有形固定資産 			+185	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他有価証券評価差額金 ・ 少数株主持分 			-15 -12
総資産	2,784	2,741	-43	負債・純資産	2,784	2,741	-43

LEJ*設備関係の支払に伴う債務減少

リチウムイオン電池の新規設備取得にともなう増加

リチウムイオン電池製造設備の増加

株式市況の悪化

I-3. 2013年3月期第2四半期決算

キャッシュフロー

(億円)

営業C/F	96	投資C/F	-150	財務C/F	-12
・償却前利益	110	・有形固定資産の取得	-198	・借入金の増加	28
・運転資本	6	・補助金の受取	49	・配当金の支払	-33
・税金等の支払	-26				

フリーC/F	現金および現金同等物の残高			
-54	期首	165	期末	99

ポイント

- ・ 前年同期の営業C/Fはマイナスだったが、今年度は96億円を確保
- ・ フリーC/Fはマイナス54億円となったが、余裕資金を取り崩して賄った。その結果、キャッシュの期末残高は99億円となった。

I-3. 2013年3月期第2四半期決算

設備投資・減価償却費

(億円)

	2011年度 通期実績	2012年度 2Q累計
リチウムイオン電池事業	305	204
海外事業	34	20
その他	49	20
設備投資額 合計	388	244
減価償却費	112	61
内 リチウムイオン電池事業	40	26

目次

- I. 2013年3月期第2四半期決算
 - 1. 決算の概要
 - 2. セグメント別業績
 - 3. 貸借対照表・キャッシュフロー
設備投資・減価償却費

- II. 2013年3月期修正計画
 - 1. 2013年3月期修正計画
 - 2. 事業課題

II-1. 2013年3月期修正計画

修正計画の概要

(億円)

	2011年度 実績(a)	2012年度 当初計画	2012年度 修正計画(b)	増減 (b-a)
売上高	2,854	3,100	2,880	+26 (+0.9%)
営業利益	160	180	100	-60 (-37.5%)
利益率	5.6%	5.8%	3.5%	-2.1p
経常利益	180	200	120	-60 (-33.3%)
純利益	117	130	80	-37 (-31.6%)
前提条件(下期)	(鉛価格) 国内建値:21万円/t LME: \$2,000/t (為替レート) 77円/\$			

II-1. 2013年3月期修正計画

セグメント別計画

(億円)

	2011年度 実績(a)		2012年度 当初計画		2012年度 修正計画(b)		増減 (b-a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
国内自動車電池	588	43	600	50	600	50	+12	+7
国内産業電池電源	685	96	730	100	730	100	+45	+4
海外	1,210	60	1,270	80	1,270	70	+60	+10
リチウムイオン電池	210	-33	320	-40	100	-100	-110	-67
その他	163	-6	180	-10	180	-20	+17	-14
合計	2,854	160	3,100	180	2,880	100	+26	-60

目次

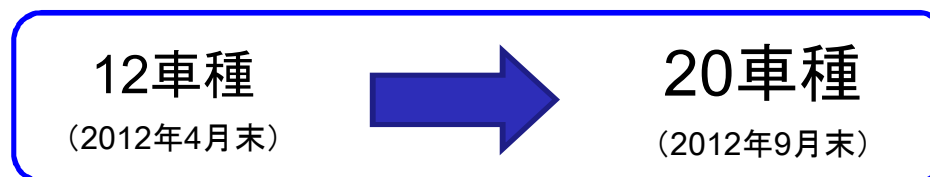
- I. 2013年3月期第2四半期決算
 - 1. 決算の概要
 - 2. セグメント別業績
 - 3. 貸借対照表・キャッシュフロー
設備投資・減価償却費

- II. 2013年3月期修正計画
 - 1. 2013年3月期修正計画
 - 2. 事業課題

II-2. 2013年3月期修正計画 事業課題

国内自動車電池事業

- アイドリングストップ車用鉛蓄電池 引き続き採用車種の拡大を狙う



- エコカー用鉛蓄電池の拡販

- 新車メーカー納入電池の半数以上を占めるエコカー用鉛蓄電池
さらなる拡大を狙う



- 補修用電池拡販に向けた販売体制の強化

- 販路を強化、需要の取り込み
販売ならびにサービス体制のさらなる充実

II-2. 2013年3月期修正計画 事業課題

国内産業電池電源事業

■産業用リチウムイオン電池を利用した製品の用途開拓と拡販

- リチウムイオン蓄電システムの拡販
JR東日本の平泉駅に太陽光パネルで発電した
電力の余剰を蓄電するシステムを納入
- ピークカット用途のリチウムイオン蓄電システムを発売
経済産業省の補助金※の対象製品として拡販を狙う

※:平成23年度「定置用リチウムイオン蓄電池導入促進対策事業補助金」



平泉駅に納入されたリチウムイオン蓄電システム
(容量:240kWh)



8月に発売したピークカット用
リチウムイオン蓄電システム
(パワーコンディショナー:ラインバックΣIII)

II-2. 2013年3月期修正計画 事業課題

国内産業電池電源事業

■ 太陽光発電用パワーコンディショナーの需要取り込み

- 7月から始まった再生可能エネルギーの全量買い取り制度により、受注・引合いは順調に推移
- 生産能力をアップさせ旺盛な需要のさらなる取り込みを狙う
- 子会社のいわきユアサ(福島県)にメガソーラー(1MW)を設置
2012年11月着工、2013年3月運転開始予定



いわきユアサのメガソーラー完成予想図



メガソーラー用パワーコンディショナー
(ラインバックガンマ、250kW出力)

II-2. 2013年3月期修正計画 事業課題

海外事業

■ 増産・増販計画と取り組み (持分法適用子会社を含む)

(単位)
 自動車電池販売数量 : 千個
 設備投資額 : 億円

国名	自動車電池販売数量 2011年→2014年	取り組み	設備投資額 (2012-2014累計)
インドネシア	4,700 → 5,500～ 6,000	新工場を建設、2013年に生産開始	60
タイ	3,100 → 4,500～ 5,000	隣接地に新工場を建設中	25
ベトナム	370 → 700～ 750	工場を増設、生産能力拡大	10
中国	4,600 → 6,500～ 7,000	新工場建設を含む生産能力拡大	75

■ 日中関係悪化の影響

- 日系自動車メーカーの減産により販売数量は減少するが、本セグメントに対する今期の影響は軽微

II-2. 2013年3月期修正計画 事業課題

リチウムイオン電池

■ 修正計画の概要

(億円)

	2012年度 当初計画(a)	2012年度 修正計画			増減 (b-a)
		上期実績	下期計画	通期計画(b)	
売上高	320	47	53	100	-220
営業利益	-40	-30	-70	-100	-60

- 下期は新規設備稼働に伴い減価償却費が拡大
- 電気自動車向けリチウムイオン電池は、当初の販売計画数量から大幅に減少することになり、大きな減益要因となる

II-2. 2013年3月期修正計画 事業課題

リチウムイオン電池

■ リチウムエナジー ジャパン 拡販への取り組み

- 下期から三菱自動車アウトランダーPHEV用リチウムイオン電池の出荷開始
- PSA向け商用車EV用リチウムイオン電池の出荷に向け準備中
- 栗東工場2期は建屋完成、生産設備の設置・調整中
欧州の複数メーカーへの納入に向け来春に稼働予定

■ ブルーエナジー 拡販への取り組み

- ホンダCR-Z(HEV)用リチウムイオン電池の出荷開始
- 今後の車種拡大に備え生産ライン増設中



ホンダ CR-Z

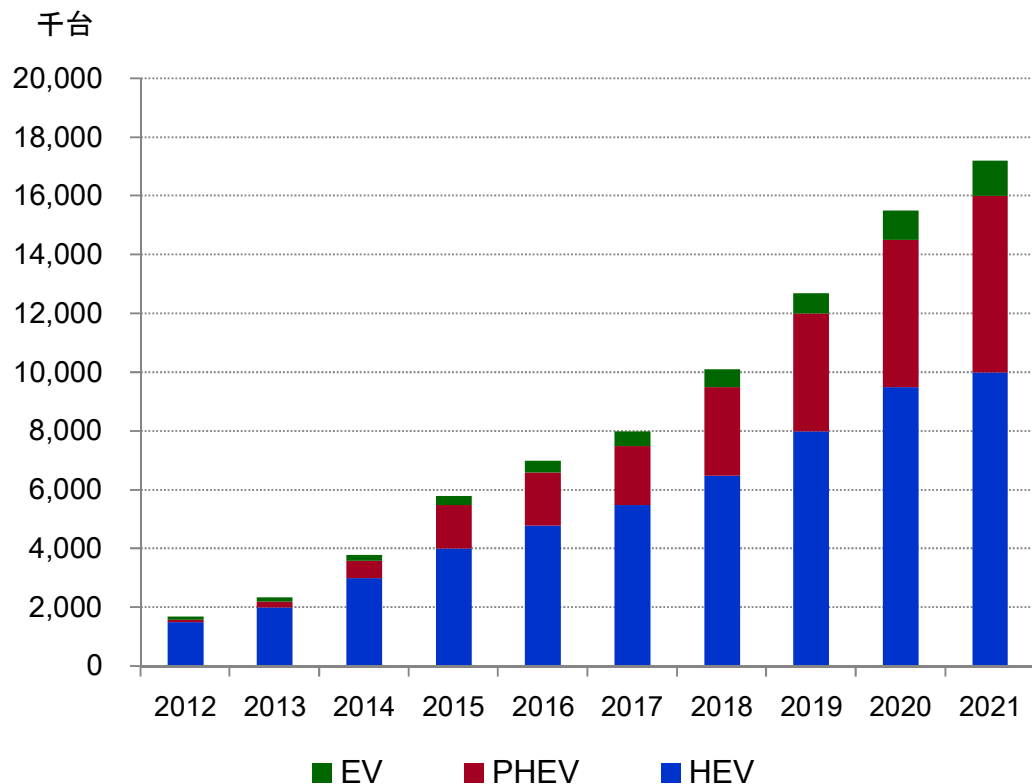


新型「三菱アウトランダーPHEV」
(パリモーターショー出品車)

II-2. 2013年3月期修正計画 事業課題

リチウムイオン電池

■ 車載用リチウムイオン電池需要予測と最近の動向



出所：ハイブリッド車/電気自動車総覧 2012-2013

日経Automotive Technology / 日経エレクトロニクス共同編集

<需要予測最近の動向>

種類	動向
EV	立ち上がりが遅いが徐々に伸長
PHEV	想定より大きく伸長
HEV	想定通り大きく伸長

II-2. 2013年3月期修正計画 事業課題

リチウムイオン電池

■産業用リチウムイオン電池を利用した製品の海外市場への展開

- 電力貯蔵用: 発電所、電力網等
- 鉄道用: LRT等
- 航空機用: 民間航空機
- 宇宙用: ロケット、人工衛星



ボーイング787



宇宙貨物輸送機「シグナス」

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
コーポレート室

中野 宏治 ・ 山本 靖志

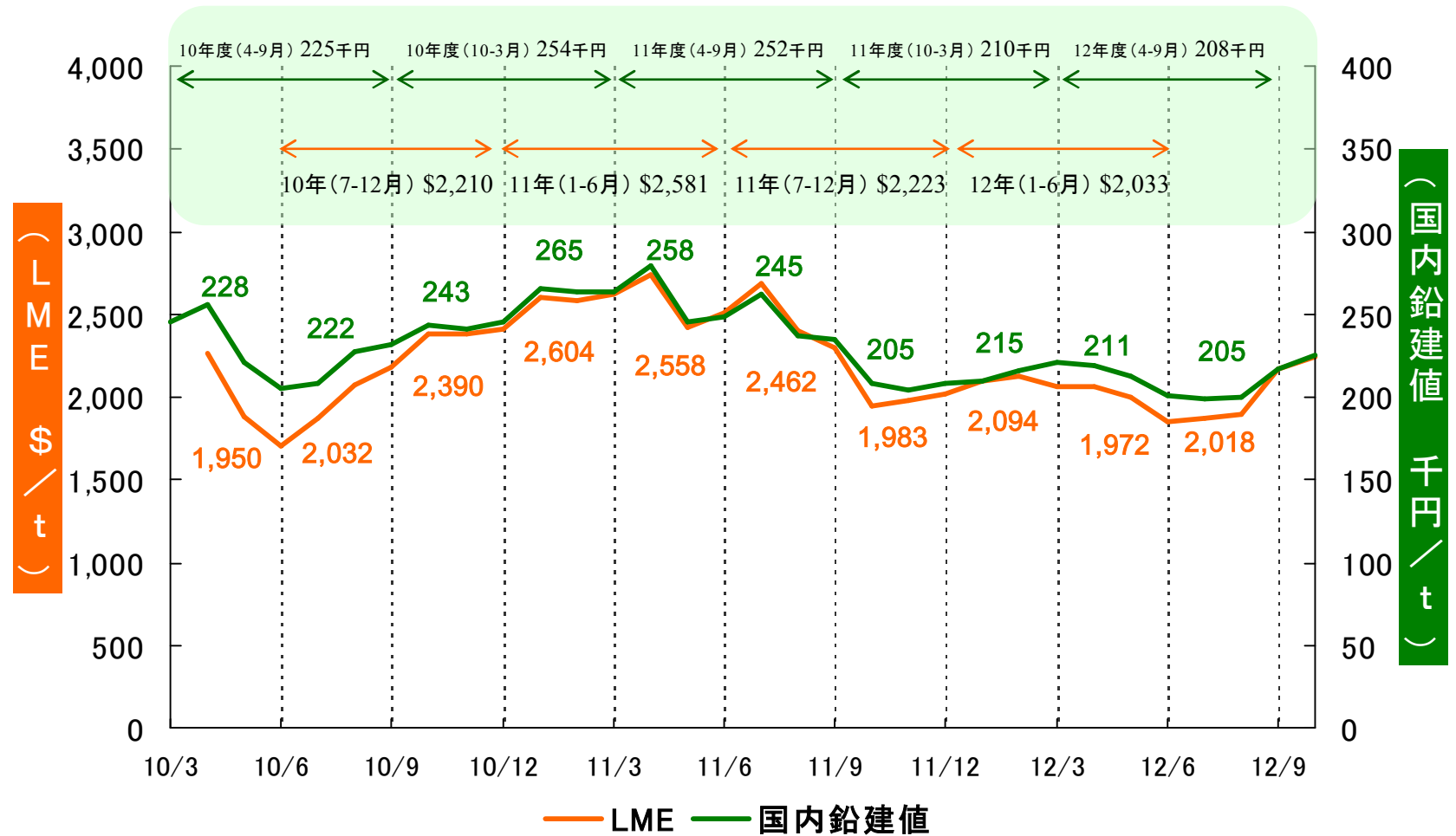
Tel : 075-312-1214

<http://www.gs-yuasa.com/jp>



参考資料

原材料価格の推移・前提条件



12年度下期前提条件

LME \$2,000/t
国内鉛建値 210千円/t

足元情報(11月5日現在)
LME \$2,096 国内鉛建値220千円



参考資料

リチウムイオン電池 生産拠点

Lithium Energy Japan



京都工場
(GSユアサ本社内)

工場稼動 2010年12月
生産能力 180MWh/年

Lithium Energy Japan



草津工場

工場稼動 2009年6月
生産能力 110MWh/年

Lithium Energy Japan



栗東工場1期



栗東工場2期
栗東工場

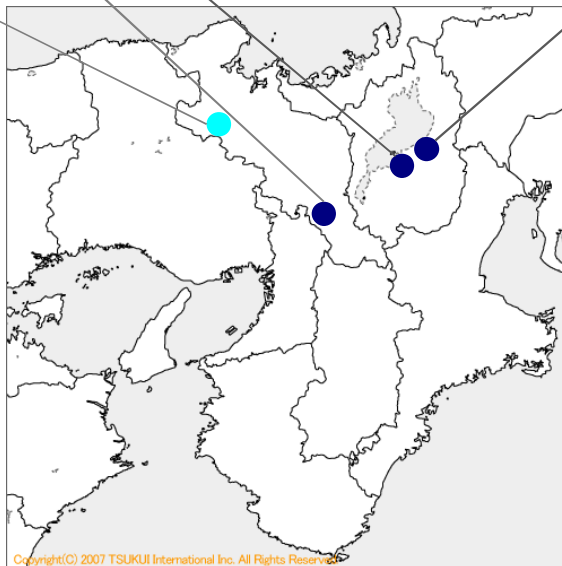
工場稼動 1期 : 2012年2月
2期 : 2013年春
生産能力 2000MWh/年

Blue Energy



Blue Energy **長田野事業所**

工場稼動 2011年2月
生産能力 200MWh/年



- 株式会社リチウムエナジー ジャパン生産拠点
- 株式会社ブルーエナジー生産拠点